

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会	44.45.46.47.48.49. 50.51.52.54.55.58	<p>子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減</p> <p>44.45.46.47.48.49.50.51.52.54.55.58.機関誌『家族と健康』を通して、「健やか親子21」関連記事を積極的に取り上げる。</p> <p>第600号 平成16年3月1日発行 今月のページ ●若者たちに聞かれた「クローバー・ピアルーム」 ●三人の子を死産、数年後に正確な診断が確定 ●本会活動、いつの時代もヒューマンな立場で ●中絶防止対策の推進に経口避妊薬が ●十代の中絶が減った（1）</p> <p>第599号 平成16年2月1日発行 今月のページ ●平成16年度母子保健関係予算案の概要 ●娘のいとこ婚に強く反対する父親 ●若者の心をつかみ思春期保健の重要性を彼ら若者に伝えたい ●「瞳を閉じて」～Looking For My Mind～ ●子どもの心と身体の健やかな成長を願い</p>	<p>子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減</p> <p>44.45.46.47.48.49.50.51.52.54.55.58.機関誌『家族と健康』を通して、「健やか親子21」関連記事を積極的に取り上げる。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会		<p>第598号 平成16年1月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯健康都市の実現をめざし様々なヘルス事業 ●二重いとこ婚-遺伝子が重なり合い ●「生きる力」に大切な親子のコミュニケーション ●ウーマンズヘルスパートナー・コールセンター ●平成16年度セミナー・研修会のご案内 ●地域が積極的に取り組み児童の虐待予防！ <p>第597号 平成15年12月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成15年母子保健・家族計画全国大会表彰者 ●知る幸せもあり知らない幸せもある ●男女共同参画社会に向けてリプロ・ヘルスの実現！ ●イラクで急増する闇中絶と妊産婦死亡 ●きらめくいのち・未来につながる保健福祉戦略 <p>第596号 平成15年11月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●望まない妊娠を防ぎSTIを予防するために ●ターナー症、頻度が高く見逃されることも多い ●人間医療学の確立病感に目を向けた医療をめざし ●子育て支援、親子のきずなを取り戻し ●思春期の若者への健康支援を訴える ●いまどきの思春期（16） 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本家族計画協会		<p>第595号 平成15年10月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成16年度母子保健関係予算概算要求の概要 ●ターナー症、頻度が高く見逃されることも多い(上) ●性の健康管理はほうっておいては身につかない! ●お母さん自身も癒されることが必要 ●上海の人口・家族計画専門家、大阪を事業視察 ●いまどきの思春期(15) <p>第594号 平成15年9月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保健所と学校が連携し生徒の防煙教育 ●家族には必要なときに必要な情報を(下) ●14座制覇!目標に向かい生活の全てを傾けて ●間質性膀胱炎、知識を深めて適切な治療を ●いまどきの思春期(14) <p>第593号 平成15年8月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「主体的な行動変容プログラム開発」の成果を発表 ●家族には必要なときに必要な情報を(上) ●思春期のセクシャル・ヘルス推進をめざし ●生徒自らが「性と生」を仲間に伝えてあげたいと ●いまどきの思春期(13) 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会		<p>第592号 平成15年7月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●に対し充実したリプロ・ヘルスサービス ●妊娠・出産、75%の確率に期待し（下） ●リプロ・ヘルスセンター二〇〇二年度の活動報告 ●性と生殖に関する生涯の健康支援を訴え ●高校生の自己決定力・問題解決能力を引き出し ●いまどきの思春期（12） <p>第591号 平成15年6月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大切な命～生まれる前の自分探し ●妊娠・出産、75%の確率に期待し（上） ●教えないことより教えることの方が効果的 ●小児事故予防に向けた地域介入プログラム ●いまどきの思春期（11） <p>第590号 平成15年5月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インドネシアに根づくインテグレーション ●責任ある性行動！普段からの親と子の会話 ●紙芝居による健康教育、中国の少数民族に ●高校生の月経教育で健康意識と自尊意識を高め ●いまどきの思春期（10） 	
22. (社)日本家族計画協会		<p>第589号 平成15年4月1日発行 今月のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正しい保健知識で閉経期の健康管理 ●聴覚障害者からの相談～健常児は育てられない ●Dual Protection－望まない妊娠の防止と性感染症予防への取り組み ●ハンディを持つ子にも健常児と共通の内面世界 ●発達に配慮が必要な子どもの保育支援 ●いまどきの思春期（9） 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会	45.46.48.49.	<p>45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進</p> <p>1. 看護職者間の連携促進とネットワークづくり</p> <p>1) 第2回子ども虐待予防対策交流会の開催 (目的) 子ども虐待対策における看護職の連携促進 (内容) 日時：平成16年2月7日 場所：家の光会館（東京 飯田橋） 対象者：医療・保健・福祉の現場で子ども虐待対策に取り組む看護職200名 参加者：176名</p> <p>2) 子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業（厚生労働省委託・先駆的保健活動交流推進事業）</p> <p>①子どもの虐待予防ネットワークの構築（滋賀県彦根市） (目的) 子どもの虐待に関係する保健・医療・福祉・教育分野の機関と住民が集まって、虐待予防のネットワークに共同参画することによって、地域セイフティーネットワークの構築を目的とする。 (内容) ・学校と地域の連携に関する活動評価 ・子ども虐待対応マニュアルの作成 ・地域住民を対象にした子育てシンポジウムの実施 ・子どもと大人を対象にしたモデル地区での「こころとからだを守るワークショップ」の実施</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会		3) 「まちの保健室」事業の推進 ①「いつでも どこでも みんなで子育て」わが町にしなり子育てネットを拠点とした虐待0のまちづくり（大阪府） （内容）・子育てに苦しむ母親への心理的社会的状況調査および虐待防止方策の検討 ・「虐待ハイリスク」の母親を対象とする看護職によるエンパワメントの実施 ・官民協働の子育て支援ネットワーク機能の活用による虐待防止 46. 子育てに自信が持てるような支援の推進 1. 子育て支援と看護職者の役割（看護教育・研究センター／清瀬・神戸） （目的）現代社会における子育ての現状と子どもの虐待の背景を理解し、子育て支援における看護職の役割を考える。 （内容）・現代社会における子育ての現状 ・子どもの虐待の現状と家族支援 ・母子保健対策 ・看護職に期待される役割 ・子育て支援に関する連携の実際 （日時）平成15年7月17日～18日＜2日間＞（神戸）参加者83名 平成16年1月29日～30日＜2日間＞（清瀬）参加者79名	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会		<p>48.親がゆったりした気分で子どもと過ごすための支援の推進 1. 子どもと家族への看護・支援（神戸研修センター） （目的）現代の子どもに関する社会的現象を理解し、入院生活を送る子どもとその家族への看護の役割を考える。 （内容）・小児看護における家族支援（その意義と課題） ・子どもの成長発達とQOL ・小児疾患と治療の現状 ・看護者と療育者の役割機能 （日時）平成15年11月17日～18日 <2日間>（神戸）参加者158名</p> <p>49.育児について相談できる環境の整備 1. 「まちの保健室」事業の推進 1）多世代がつどい支えあう「まちの保健室」事業－女性の健康づくり支援をめざして（三重県） （目的）多世代（特に女性）を対象にした地域密着型の健康相談作り （内容）・子育て相談・支援 ・子育て中の親や高校生によるコミュニティ・ミーティング</p>	
25. 日本公衆衛生学会	44.45.46.47.児童虐待防止に関連した取り組み		第63回総会（平成16年10月27日～29日、松江市）において、「児童虐待」をテーマとした特別行事（教育講演など）を予定。
32. (社)日本小児科学会	53.59.60.61.	<p>53.周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立 新生児聴覚スクリーニングに関する見解を発表した（日本小児科学会ホームページならびに日児誌2003;107:1064-65）。</p> <p>59.親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の確保・養成 （1）パンフレット「成長曲線からみた摂食障害、ネグレクト、肥満の早期発見法について」を作成した。 （2）上記パンフレットを基に、養護教諭、保育関係者との連携を深めると同時に、子どもの心の健康問題に関する若手小児科医師のレベルアップを目指した活動の一環としてフォーラム「学校保健・心の問題フォーラム 身長・体重測定が教えてくれるもの」を開催した。 日時：平成16年3月28日 場所：東京慈恵会医科大学講堂</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
33. 日本小児看護学会	53	<p>53. 周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立 <地方会の開催> 目的：小児医療・看護の質の向上のための啓蒙を目的に、全国各地で年1・2回地方会を開催する。 参加者：臨床看護師を中心に保健師・助産師など約100名 開催状況：「在宅医療を支える」というテーマの講演と、「NICU退院児の在宅ケアと地域における協働」のシンポジウムを、中四国地域で開催した。 結果：NICU退院児を地域で支える方法として、モデル事業での研究結果に基づいた報告を行った。参加者は退院後のフォローや小児訪問看護の必要性について認識し、現在の訪問看護ステーションの方向性やコーディネーターの役割などの課題が明らかとなり、今後のシステム作りの検討に繋がった。</p>	
34. 日本小児救急医学会	44.45.59.	<p>44. 虐待による死亡の防止 45. 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護、支援の推進 59. 親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の確保・養成 *小児救急医学会学術集会で多数の一般演題口頭発表 目的（テーマ）：虐待の現状と小児科医の役割 参加人数（対象者）：約400名（小児医療関係者） 開催等：1回（日本小児救急医学会学術集会） 埼玉県さいたま市で、平成15年6月21・22日 効果、その他：地域で様々な試みが行われていることが発表され、それぞれに刺激を受けていた。また、教育講演でも取り上げられるなど、小児救急医療現場での虐待発見の重要性を啓蒙できた。</p>	<p>31.32.33.35.39.44.45.59. 子どものメンタルケアへの小児科医の関わり 第18回日本小児救急医学会学術集会とその市民公開講座において、平成16年6月17日18日19日、石川県金沢市で開催予定 一般講演広く市民に子ども達の健全育成の重要性を啓蒙する予定である 子どものメンタルケアへの小児科医の関わり 上記学会にて、招聘講演を行い、慶応大小児科の渡辺久子氏に2時間の講演を御願している</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
35. (社団)日本小児保健協会	46.48.49.54.55.59.	<p>推進協議会代表幹事団体として他の幹事団体・参加団体と協力して活動を行なっている。</p> <p>1. 健やか親子21 第4課題 ワークショップ 地域における子育て支援システムの構築と普及 平成15年11月22-23日 こどもの城研修室 参加：28名（地域で実際に活動している保健師、医師、保育士、臨床心理士、市町村職員、NPO,ボランティアなど）</p> <p>① 周産期からの支援システムを考える ② 子育て支援活動の広がりを考える ③ 支援グループのネットワーク化 子育て支援システム構築のガイドブックの作成に役立つ。</p> <p>2. 平成15年度健やか親子21公開シンポジウムへの参加 平成16年2月24日 労働スクエア東京 ホール・会議室 第4課題：子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 育児支援のゼロ次予防とコミュニティーテヘロブメント シンポジスト4名 参加者：200名 ワークショップ報告「周産期からの支援システムを考える」 マスメディアから子どもを守る-NPO活動 早期教育の弊害 保健センター「ヤンママの会」 保育所の子育て支援 活発な意見交換がおこなわれた。地域の支援システムの構築に寄与した。</p>	<p>46.48.49.54.55.59. 第4課題 推進協議会代表幹事団体として他の幹事団体・参加団体と協力して活動を行なう予定である。また活動の骨子は厚生科学研究「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」（山口班）と連携しておこなう予定である。</p> <p>1. 健やか親子21 第4課題推進協議会の開催：年2回予定 2. 支援システム構築のための「ガイドブック」の作成 3. モデル地区の設定と普及：久留米聖マリア病院周産期センター・筑後地区支援システム、あきるの市の保育所、民生委員参加のコミュニティーテヘロブメントなど 4. 健やか親子21 平成16年度公開シンポジウムへの参加 5. 課題に関する講演活動</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
35. (社団)日本小児保健協会		<p>3. 第4課題 推進協議会・「地域における子育て支援システムの構築と普及に冠する研究」班合同会議並びに打ち合わせ会 参加者：幹事団体並びに参加団体、学識経験者など 1)平成15年5月26日：15年度活動の打ち合わせ・データベース作成 保健センター連合会会議室・子ども家庭総合研究所 参加：幹事並びに関係者 5名 2)15年10月20日：マークショップ 打ち合わせ 全国保健センター連合会：参加者：6名 3)平成16年2月24日10：30-12時 労働スクエア東京504会議室：参加者35名 各団体の活動状況と今後の活動について討議をおこなった。 4. 支部活動；46都道府県支部における日本小児保健地方会においてこのための種々な講演や活動をおこなっている。</p> <p>平成15年 講演活動（前川喜平） 1. 小児科医からのメッセージ初めてママパパになる方へ。 清新町保健相談所、平成15年2月4日 参加者：50名 妊婦並びに夫 2. 乳幼児健診の役割とポイントについて 第4回静岡県医師会母子保健講習会講演、静岡県医師会館、平成15年2月8日 参加者：医師会会員：150名 3. チャイルドヘルスプロフェSSIONALの役割。 第9回日本小児歯科学会核術集会講演、東京医科歯科大学歯学部特別講堂 平成15年2月11日 参加者：小児歯科医師、80名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
35. (社団)日本小児保健協会		4. 子どもの心と健康。 第2回奈良子ども健康フォーラム 講演 奈良県民分庁舎ホール、平成15年3月29日 参加者:160名 医師、保健師 5. こどもの心の発達支援の為に、市町村保健師に望むこと 平成15年度茨城県市町村保健婦連絡協議会専門研修 会講演 茨城県健康科学センター大会議室 平成15年6月9日 参加者:250名 保健師 6. 子どもの発達。 すくすく子育て研究会「健やか親子21」参加記念講演会 仙台市情報・産業プラザ6階セミナーホール。 平成15年6月22日 参加者 50名 保育士、小児科医 7. 親御さんが子どものかかわりに自信をもてるような相談面接の進め方 江戸川区教育相談研修会、グリーンパレス4階会議室 平成15年6月24日 参加者:50名 教育相談所職員 8. 乳幼児保健の今後の動向ー乳幼児健診を中心として。 平成15年度兵庫県乳幼児保健研修会講演 兵庫県医師会館講堂、平成15年6月28日 医師会会員 250名 9. 乳幼児の身体と心の発達の見方とその支援について 平成15年度東京都第3回母子保健研修会講演、東京都議会議事堂1階都民ホール 平成15年8月26日 参加者:保健師 240名 10. 発達の道すじと乳幼児健診 第31回 母子保健夏季セミナーAコース「乳幼児健診と保健指導」講演 平成15年6月24日 日本子ども家庭総合研究所4階 研修室 参加者:80名(保健婦、助産師、保育士)	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
35. (社団)日本小児保健協会		<p>1 1. 発達の道すじと乳幼児健診 第31回 母子保健夏季セミナーBコース「乳幼児保健」講演 平成15年7月15日 日本子ども家庭総合研究所4階研修室 参加者：130名（保健師、助産師、保育士）</p> <p>1 2. 現在に求められる子育て支援のあり方 平成15年度愛媛県母子保健指導者研修会講演、愛媛県看護研修センター 平成15年9月10日 参加者：180名、保健師、助産師、保育士</p> <p>1 3. これからの乳幼児健診のありかたー子育て支援につながる健診の実際 横須賀市厚生会館第1研修室 平成15年9月8日 参加者：48名（保健師、助産師）</p> <p>1 4. 育つ、育てる子どもの心。 愛育幼稚園講演、平成15年9月19日 参加者：60名（幼稚園園児父兄）</p> <p>1 5. 少子高齢化社会における小児保健のあり方 平成15年度母子保健研修会・福岡県小児保健研究会講演 久留米医師会館大ホール、平成15年10月25日 参加者：180名（保健師、小児科医、臨床心理）</p> <p>1 6. これからの乳幼児健診 平成15年度母子保健専門指導員研修会、子ども家庭総合研究所4階研修室 平成15年10月7日 参加者：80名（保健師、保育士）</p> <p>1 7. 子育て支援につながる健診の実際2. 横須賀市保健師・助産師研修会 県立大学大会議室、平成15年10月31日 参加者 45名（保健師、助産師）</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
35. (社団)日本小児保健協会		<p>18. これからの小児保健の対応 日本小児保健学会50回記念講演、第50回日本小児保健学会、 鹿児島県民分化センター、平成15年11つき14日 参加者：800名（小児科医、保健師など小児保健学会会員）</p> <p>19. 健やか親子21. 日本大学松戸歯学部講演、平成15年12月11日 参加者：35名 小児歯科医、医師</p> <p>20. これからママパパになる方へ。子育て応援講演会、 江戸川区清新町健康サポートセンター、平成16年1月22日 参加者：50名（妊婦、夫）</p> <p>21. 外来での母子相談。横須賀・三浦小児医会・横須賀市医師会学術講演会講演 セントラルホテル「サファイア」16年2月3日 参加者：40名（小児科医、看護婦）</p> <p>22. これからの乳幼児健診の在り方。平成15年度福岡県母子保健業務従事者研修会 福岡県中小企業振興センター3階会議室、平成16年3月8日 参加者：85名（保健師、保育士）</p> <p>著書 1. 前川喜平著：乳児健診の神経学的発達チェック法 改訂第6版、南山堂、2003</p>	